



四国がんセンター
呼吸器内科



私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします
- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようにお手伝いします



ラムシルマブ+ドセタキセル+ G-C S F 製剤療法を受けられる方へ

_____さま

主治医/担当医 []

受け持ち看護師 []

2018年3月16日 作成
2026年9月14日 改訂

ラムシルマブ+ドセタキセル療法を受けられる方へ

ラムシルマブ+ドセタキセル療法とは

「分子標的治療薬と抗がん剤の2種類の薬を使って、病巣や目に見えない全身のがん細胞を攻撃しておさえる方法」です

3週間に1回のペースで点滴を行います

初回（1クール目）は入院で点滴を行い、2クール目からは外来で行う予定です

点滴の時間は、初回は2時間20分程度の予定です

抗がん剤の投与時期や量は、患者さんの体調や検査結果によって変更されることもあります

※治療前には血液検査を必ず行います

治療前の歯科受診について

- ◆治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の歯科診察を行っています
- ◆治療前の歯科受診では、以下を行います
 - ・レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - ・歯ブラシだけではとれない細菌の除去
 - ・適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆通常1～2回の受診で終わることができます

口の中はとても細菌の多い場所です

治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります

特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中をきれいにし細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



排便について

普段からご自身の便の性状を確認し、入院中に排便調整の目安や方法を医療スタッフと一緒に確認しておきましょう

排便回数が4回以上増えたとき、下記の表の6（泥状便）～7（水様便）の排便が続くとき、周期的に腹痛があるときはすぐに医療スタッフに伝えましょう

3日以上排便がない、いきまないと便が出ない、便は毎日出ているがすっきりしない腹部膨満感などの症状があるときは、排便回数や性状によって緩下剤を使用します

※排便の状況や下痢・便秘の辛さは人によって違います

※排便のコントロールが難しい場合は看護師と解決方法を相談しましょう

便の性状について（ブリストルスケール）

ブリストルスケールは、便のタイプ（硬さ）を7種類に分類した世界共通の尺度です
自分の便のタイプを知り、排便調整の参考にしましょう

1	コロコロ便		硬くてコロコロの 糞糞状の便
2	硬い便		ソーセージ状であるが 硬い便
3	やや硬い便		表面にひび割れのある ソーセージ状の便
4	普通便		表面がなめらかで柔らかい ソーセージ状、あるいは 蛇のようなとぐろを巻く便
5	やや軟らかい便		はっきりとしたしわのある 柔らかい半分固形の便
6	泥状便		境界がほぐれて、ふにゃふにゃの不定形の小片便 泥状の便
7	水様便		水様で、固形物を含まない 液体状の便

入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするよう心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう
- ◆膀胱に尿が溜まったままの状態は、腎臓や膀胱に負担がかかり炎症を起こすことがあります
尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう
- ◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には看護師にお伝えください
- ◆正しく安全に点滴を投与するために輸液ポンプを使用します
 - ・点滴が入っている部位を曲げたり、ねじったり、また、点滴チューブをひっぱったりしないようにしてください
 - ・歩行時は、点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は、支えにしないようにしましょう



こんなときは看護師にお知らせください

- * 輸液ポンプを使用しているときに機器のアラーム音が鳴ったとき
- * 点滴が入っている部位に違和感や痛みを感じたり、腫れてきたとき



- ◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます
尿や便に直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・男性の方は飛び散り防止のため、座って排尿しましょう



- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取りトイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう



- ・トイレの後、フタがある場合は、
フタをして水を2回流しましょう

- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - * 使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - * トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう

- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院はおよそ2週間の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります、その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます



入院日 月 日



今日の目標

- ・入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・わからないことは質問することができる

<時間>

<予定>

11:00	入院	【入院後に以下のことを予定しています】 ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください） ・検温、血圧測定、身体測定
12:00	昼食	・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・禁煙の確認 ・歯科受診 ・血液検査、尿検査 ・医師、薬剤師より抗がん剤治療の説明があります ・サインをした同意書は、看護師にお渡しください ・初回治療のときは、管理栄養士より病院食や食事の工夫について説明があります 2回目以降、味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください
18:00	夕食	<お薬> ・他の病院で処方された薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします
21:30	消灯	<食事> ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください ・基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります

医療スタッフの目標

- ・入院生活や抗がん剤治療に対する不安がないように支援します





今日の目標

- ・抗がん剤治療について医療スタッフの説明が理解できる
- ・日常生活の注意点を知ることができる

<時間>

<予定>

6:00 起床

7:30 朝食 薬剤師より薬の説明があります

10:00 検温
血圧測定



12:00 昼食

治療の流れや注意事項、副作用や対策について説明します
過敏症、点滴部位の痛み・血管痛について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

14:00 検温
血圧測定

シャワー浴をしましょう



18:00 夕食

21:30 消灯 眠れないときは看護師へお知らせください



退院日のページの後に、体調の変化や副作用症状について記載できるページがありますので活用してください

医療スタッフの目標

- ・抗がん剤治療に対する不安がないように支援します





今日の目標

- ・予定どおり治療を受けることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温
血圧測定

<治療時の注意点>

- ・治療前にトイレに行きましょう

7:30

朝食

- ・点滴中は管を無理に引っ張ったり、針の入っているところを押さえたりしないようにしましょう

10:00

検温
血圧測定

- ・点滴の漏れを防ぐために移動や着替えなど、看護師が身の回りのお手伝いをします

12:00

昼食

- ・抗がん剤開始30分前から投与終了まで、アレルギー症状の早期発見のために心電図モニターを胸に装着します

- ・抗がん剤開始時より、看護師がしばらく付き添います

吐き気・嘔吐、味覚障害・食欲不振、倦怠感について説明します

「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

18:00

夕食

点滴中は、トイレなどの歩行時に注意しましょう
点滴台を支えにして歩くと転倒する可能性があります
点滴台は支えにしないようにしましょう

19:00

検温
血圧測定

21:30

消灯

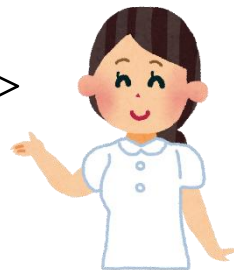


点滴開始後は
フタをして水を
2回流しましょう

点滴スケジュール	
() 時から 点滴を始めます	
1 本目	吐き気止めの点滴を約 1 5 分で行います
2 本目	ラムシルマブ（抗がん剤）の点滴を行います ・初回 ：60分 ・2回目以降：30分
3 本目	生理食塩水の点滴を約5分で行います
4 本目	ドセタキセル（抗がん剤）の点滴を約60分で行います
5 本目	生理食塩水の点滴を約5分で行います

針の入っているところが赤くなった、腫れている、痛みがあるときはすぐにお知らせください

息が苦しい、胸がドキドキする、体が熱いなど変わったことがあればすぐに看護師にお知らせください



医療スタッフの目標

- ・アレルギー症状の早期発見に努めます
- ・抗がん剤の血管外漏出予防に努めます





今日の目標

- ・副作用症状があれば、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

- ・副作用の対処方法や日常の過ごし方について説明します
不明な点があればお知らせください

7:30

朝食

- ・吐き気や口内炎、味覚障害などで食事が食べにくいときは、
食事内容を変更できます

10:00

検温

血圧測定

- 管理栄養士と相談もできますので、看護師にお知らせください

12:00

昼食

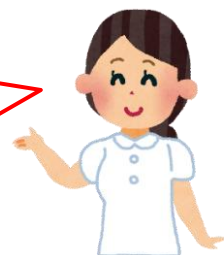
治療2日目：便秘、下痢

治療3日目：口内炎、神経障害、皮膚障害、爪のトラブル
について説明します

「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照

「がん治療による爪のトラブルについて」パンフレット参照

息が苦しくなった、咳が増えた、
37.5℃以上の熱が出たときなどは
早めに看護師にお知らせください



18:00

夕食



フタをして
水を2回流しましょう

21:30

消灯

- ・針の入っていたところが赤くなった、腫れた、痛くなった
ときは、すぐにお知らせください

医療スタッフの目標

- ・副作用が最小限になるように支援します
- ・不安なく療養できるように支援します





今日の目標

- ・副作用症状があれば、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

- ・副作用の対処方法や日常の過ごし方について説明します
不明な点があればお知らせください

7:30

朝食

- ・吐き気や口内炎、味覚障害などで
食事が食べにくいときは、
食事内容を変更できます



10:00

検温
血圧測定管理栄養士と相談もできますので
看護師にお知らせください

12:00

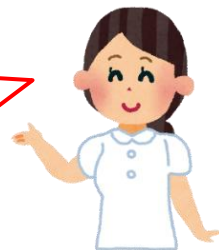
昼食

治療4日目：骨髄毒性
治療5日目：肺障害、息切れ・動悸
治療6日目：脱毛
治療7日目：腎機能障害、浮腫
について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」パンフレット参照
「がん治療による脱毛に備えて（頭髮編）」
パンフレット参照

18:00

夕食

息が苦しくなった、咳が増えた、
37.5℃以上の熱が出たときなどは
早めに看護師にお知らせください



21:30

消灯

医療スタッフの目標

- ・副作用が最小限になるように支援します
- ・不安なく療養できるように支援します



治療8日目以降 月 日～



今日の目標

- ・副作用症状があれば、医療スタッフに伝えることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

- ・日常生活の注意点について説明します

7:30

朝食

- ・副作用の対処方法や日常の過ごし方など不明な点があればお知らせください

10:00

検温
血圧測定

- ★治療8日目、治療10日目頃に、血液検査とレントゲン検査があります

12:00

昼食

- ・手洗い、うがいを行いマスクを着用しましょう



18:00

夕食

息が苦しくなった、咳が増えた、
37.5℃以上の熱が出たときなどは
早めに看護師にお知らせください



21:30

消灯

医療スタッフの目標

- ・副作用が最小限になるように支援します
- ・不安なく療養できるように支援します





今日の目標

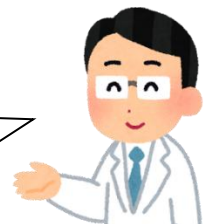
- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>	<予定>
6:00	起床
7:30	朝食
	血液検査、レントゲン検査
10:00	検温 血圧測定
	血液検査、レントゲン検査結果で 医師から退院許可が出ます
12:00	昼食
	・退院後の日常生活の注意点について説明します
	・次回から外来治療になります 通院治療室の見学を午後からします 時間は決定次第、看護師からお知らせします
	() 時から見学に行きます
18:00	夕食
21:30	消灯



医療スタッフの目標

- ・退院の準備がすすめられるように支援します



退院日 月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

7:30

朝食

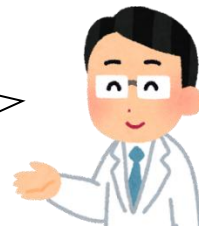
次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院
退院前に忘れ物がないようご確認ください
「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので
2階医事受付窓口でお支払ください

医療スタッフの目標

- ・安心して退院できるように支援します





ウィッグ以外にも
お役立ち製品が色々♪



メイク ネイル用品

ウィッグ 帽子 ヘア用品 ネックカバーなど



治療によって脱毛・肌や爪のトラブルが起こる可能性がある方に、上記展示品の案内や試着を行っています

お住まいの自治体によっては、治療に伴うウィッグに関する助成制度を設けています
詳しくは、本館2階『がん相談支援センター』でご相談ください

※暖だんでの販売は行っておりません

気になる製品については購入方法をお伝えしています

体調の変化や副作用症状を書きとめていきましょう

月／日			月／日			月／日		
1 日 目	／		8 日 目	／		15 日 目	／	
2 日 目	／		9 日 目	／		16 日 目	／	
3 日 目	／		10 日 目	／		17 日 目	／	
4 日 目	／		11 日 目	／		18 日 目	／	
5 日 目	／		12 日 目	／		19 日 目	／	
6 日 目	／		13 日 目	／		20 日 目	／	
7 日 目	／		14 日 目	／		21 日 目	／	

退院後の日常生活について

●呼吸

息苦しさや咳がひどくならないか、注意してください

息苦しさが続くとき、ひどい咳が続くときは、がん相談支援センターにご相談ください

●血圧測定

退院後、血圧の自己測定を行いましょう

起床時など、毎日同じタイミングで測定すると良いでしょう

●鼻出血、口腔内出血

出血しやすくなりますので、鼻を強くかみすぎたり、歯を強くみがきすぎたりしないようにしてください

なるべく柔らかい歯ブラシを選びましょう

●食事

吐き気の強いときは食べやすい物を食べるようにしましょう

食事が上手くすすまないときは、退院後でも栄養相談を受けることもできます

口内炎を予防するために、食後は口腔内を清潔に保ちましょう



●排泄

なるべく便秘をしないように気をつけましょう

軽い運動や水分をとるようにしましょう

下痢のときは白湯などの水分を十分補給してください

水分を控えることは逆効果になり、脱水の原因にもなります

便秘がちの方は、退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

緩下剤（便をゆるくする薬・押し出す薬）を処方することもできます

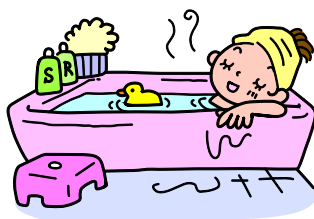
●活動

副作用症状がおさまっていれば、活動の内容や範囲に制限はありません
無理をしない程度で体を動かしましょう
自転車やバイク・自動車の運転もできます

活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

●入浴

特に制限はありません
今までどおりでかまいません
体は清潔に保ちましょう



●仕事

これから先、安心して働き続けるためには
体の状態に合わせた休み方や働き方が必要に
なることもあります

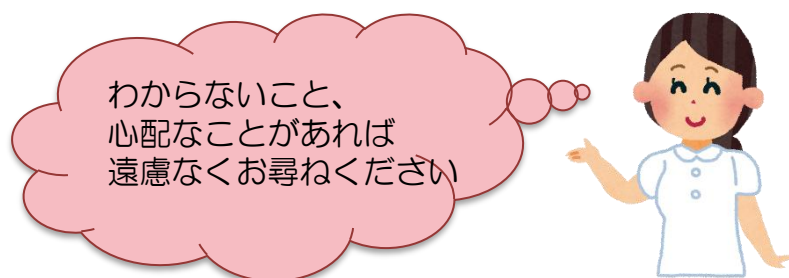
病院では、患者さんの「働きたい！」を
サポートしています

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください



●お薬

発熱などの薬の処方がある方は、医師の指示どおりに服用してください
ほかの病院で処方されている薬がある場合は、退院までに
医師スタッフにお知らせください
今後の服用について相談させていただきます



外来で抗がん剤点滴治療を受けられる方へ

通院治療の流れ

① 受付



B受付

② 採血
中央処置室



☆採血時のお願い☆

採血時に注意することは退院前に確認しておきましょう
点滴予定の腕とは反対の腕で採血しましょう



採血結果が出るまで、
約30分～1時間かかります

③ 診察受付

A受付

B受付

C受付

S受付

呼吸器科
消化器科
緩和ケア
感染症腫瘍内科
骨軟部腫瘍・整形外科
禁煙外来

泌尿器科
血液腫瘍内科
原発不明がん診療科

④ 診察

乳腺外科
婦人科
形成外科
頭頸科・甲状腺腫瘍外科
歯科
病理診断科

消化器内科
糖尿病内科
内分泌内科
循環器内科
皮膚科
眼科
精神科
脳神経外科
リンパ浮腫
がんゲノム医療外来

治療決定

S受付

⑤ 治療
通院治療室

看護師が点滴の針を刺し、
確認後に抗がん剤を開始します

治療終了

検査や他の診療科で診察のある方は、各受付へ

検査の説明を受ける方は、予約センターへ

⑥ 会計

処方箋もすべてファイルに入れたまま総合受付 **6番窓口** に提出してください。

***お薬の処方がある方へ**

6番窓口で処方箋をお渡しします。4日以内にお薬をお受け取りください。

予約センターは
B受付の隣です



通院治療室での過ごし方

- 外来で初めて治療を受ける方は、説明と確認を行うため、少し時間がかかります。
- 入室時に、ベッドか椅子を選択できますが、混雑時にはご希望に添えないこともあります。
- テレビは無料で利用できます。ラジオや音楽プレイヤー等の持ち込みも可能です。ご利用される場合にはイヤホンをご用意ください。
- 携帯電話はマナーモードに設定し、通話をご遠慮ください。
- 通院治療室内での飲食は可能ですが、においの強いものはご遠慮ください。飲食される方は、各自でご準備ください。
- トイレは通院治療室内のトイレをご使用ください。男女兼用ですが、3か所あります。
- 付き添いは原則ご遠慮いただいております。ご家族の待機場所として「暖だん」や「図書コーナー」などがあります。
- 副作用や日常生活で困っていることや相談したいことがあれば、いつでもスタッフに声をおかけください。





- 37.5℃以上熱が続いて、体がしんどいとき
または、38.0℃以上の発熱があるとき
- 息苦しさが悪化したとき
- 食事や水分がとれなくなったとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更
【平日】 13:00~17:00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



ラムシルマブ+ドセタキセル+G-CSF 製剤療法を受けられる方へ